

第87期 中間株主通信

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで

Produce
The Future



株式会社 GSIクレオス

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、第87期中間期（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）の営業を終了いたしましたので、ここに営業の概況と決算をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月

代表取締役社長

中島 浩二



第87期中間期の業績

当中間期におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にあるものの個人消費の回復は鈍く、中国経済の減速や英国のEU離脱決定に伴う海外景気の下振れ懸念に加えて、円高の進行や株式市場の低迷など先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況下、当中間期の業績は、売上高は前年同期比6,387百万円、8.8%減収の66,001百万円、売上総利益は、前年同期比100百万円、1.5%減益の6,617百万円、営業利益は、前年同期比157百万円、36.9%増益の583百万円、経常利益は、前年同期比150百万円、38.5%減益の241

百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比159百万円、52.9%増益の460百万円となりました。

第87期中間期業績

売上高	66,001百万円	前年同期比	△8.8%
営業利益	583百万円	前年同期比	36.9%
経常利益	241百万円	前年同期比	△38.5%
親会社株主に帰属する中間純利益	460百万円	前年同期比	52.9%

通期の見通し

下半期の経営環境につきましては、引き続き先行き不透明な状況が続くものと思われませんが、当社グループは、収益性の向上と海外事業の拡大を重点施策とし、各事業の採算とリスクの管理をより徹底することで、収益基盤の強化と財務体質の改善を進めてまいります。

また、成長路線への転換を図るべく前期に定めた、2020年ビジョン「ニッチな分野でグローバルに独自の機能を提供する事業創造型商社として社会に貢献する。」にもとづき、『世

界で稼ぐ力』を強化するとともに事業の選択と集中を加速してまいります。

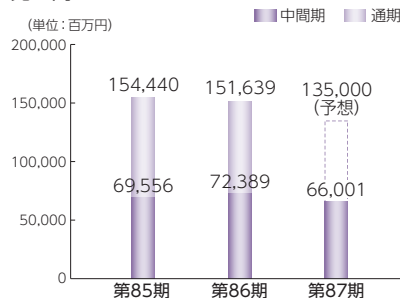
※ニッチな分野とは、メーカーが直接攻めにくく、他社社の追随を許さない、当社グループが得意としている商材や事業をいいます。

第87期通期見通し

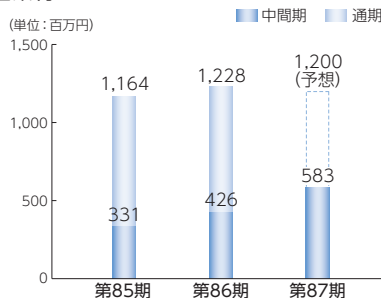
売上高	135,000百万円
営業利益	1,200百万円
経常利益	700百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,500百万円

業績の推移(連結)

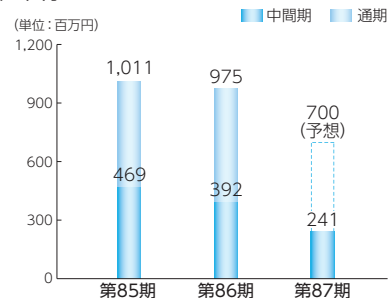
売上高



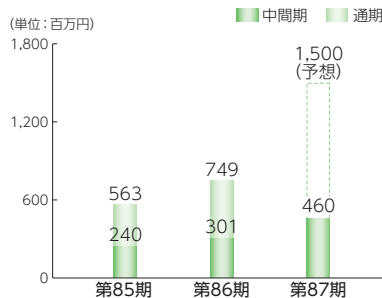
営業利益



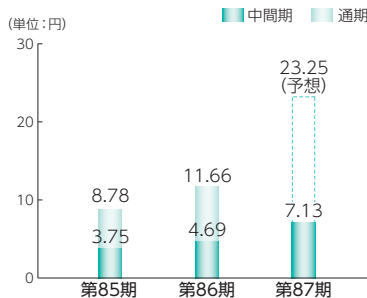
経常利益



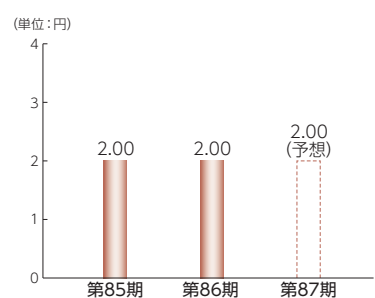
親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益



配当金



セグメント別概況

繊維事業

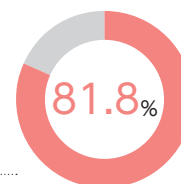
主要商品：

繊維原料、テキスタイル、
レッグ・インナー・
アウターウェア 他

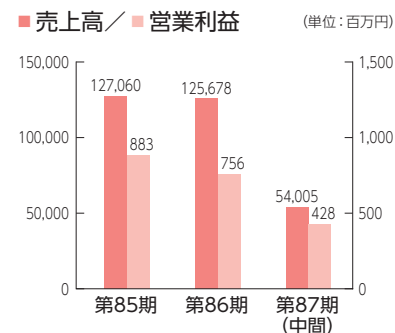


売上高	54,005百万円	
	前年同期比	△8.7%
営業利益	428百万円	
	前年同期比	40.2%

売上構成比



- 機能性の高いインナー用の原糸および生地は、円高に伴い売上高が大きく減少しました。一方、インナー製品のOEM取引は、採算が好転するとともに取引が伸長し、企画提案型の婦人ファンデーションも、採算が好転しました。
なお、平成28年9月30日にグンゼ株式会社製の肌着やパスト等の販売事業を同社に譲渡しました。
- アウター用の生地輸出は、欧米のアパレル向けが減少しましたが、アウター製品のOEM取引は、レディース向けやアウトドア向けが堅調に推移するとともに円高により採算が好転しました。婦人アパレル事業は販売が伸びず苦戦しました。



工業製品事業

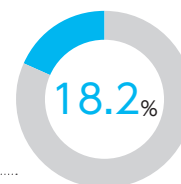
主要商品：

化学品、機械装置・資材、
ホビー・生活関連品 他

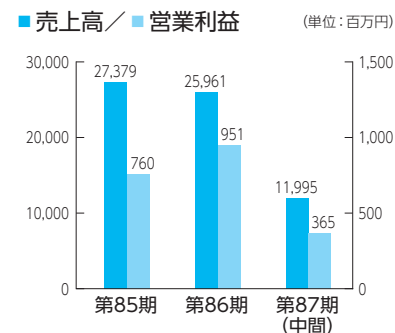


売上高	11,995百万円	
	前年同期比	△9.4%
営業利益	365百万円	
	前年同期比	7.4%

売上構成比



- 米国における半導体用途の化学製品の取引が大幅に減少し、フィルム取引も市場の悪化を受けて減少しましたが、欧米やアジア向けの塗料・樹脂の添加剤や化粧品原料の取引が堅調に推移しました。
- ホビー関連商品は、堅調に推移しました。
- ナノテクノロジー事業は、複合材料分野において、三菱電機株式会社と共同で高性能な車載用スピーカーの振動板を開発しました。



■ぽっちゃり系新ブランド「VARAL DE MODA+（バラル・デ・モーダ プラス）」を投入 ープラスサイズ市場を開拓ー

当社は、本年8月に新ブランド「VARAL DE MODA+（バラル・デ・モーダ プラス）」を市場に投入しました。

新ブランドは、ターゲットを「28～42歳のぽっちゃり系女性」に設定し、ブラウス、カットソー、ボトム、ワンピース、ニットやコートなどを、LL～4Lサイズを中心に展開します。

これまでプラスサイズでは敬遠されていた膨張色や体のラインが出るシルエットなどにも挑戦して最新のトレンドを取り入れるとともに、パターンや生地との切り替えを工夫したことで、ファッション性と着心地の良さを兼ね備えた商品となっています。

まずは、ブランドのECサイト（URL：<http://jolie-clothes.com/>）を通じての販売で認知度を高め、全国の百貨店や専門店への拡販を図ることにより、このプラスサイズ市場を開拓してまいります。



2016年秋冬コレクション

■国際パーソナルケア素材見本市「in-cosmetics Paris」に出展 ー化粧品原料ビジネスの欧州市場参入を目指してー

当社は、本年4月にフランス・パリで開催された、世界最大級のパーソナルケア素材見本市「in-cosmetics Paris」において、日本製の化粧品原料を出展しました。



「in-cosmetics Paris」の様子

見本市では、主に欧州の化粧品メーカーに対してプレゼンを行い、各商材の優れた品質をアピールしました。来場者の反応は上々で、なかでも緑茶やアズキなど日本を連想させる植物を用いた抗酸化作用等を有する原料や、紫外線に加えブルーライトもブロックするサンスクリーン剤に注目が集まりました。

当社の化粧品原料ビジネスは、日本への輸入が中心となっていますが、特徴のある日本製原料の海外への輸出にも注力しているところであり、米国や中国などでは実績を上げています。今後は、欧州市場においても販売活動を強化し、同ビジネスのさらなる拡大を目指してまいります。



注目を集めた日本製の化粧品原料
(写真左)アズキエキスを含む原料
(写真中)緑茶エキスを含む原料
(写真右)サンスクリーン剤

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期	前期	
	平成28年9月30日現在	平成28年3月31日現在	
資産の部	流動資産	53,472	58,066
	固定資産	10,000	10,140
	有形固定資産	3,792	3,646
	無形固定資産	800	813
	投資その他の資産	5,407	5,680
資産合計	63,473	68,206	
負債の部	流動負債	46,530	50,992
	固定負債	1,257	1,305
負債合計	47,788	52,297	
純資産の部	株主資本	16,172	15,718
	その他の包括利益累計額	△487	190
純資産合計	15,685	15,908	
負債純資産合計	63,473	68,206	

連結貸借対照表(要旨)のポイント

資産

売上債権の減少等により、前期末比4,732百万円の減少

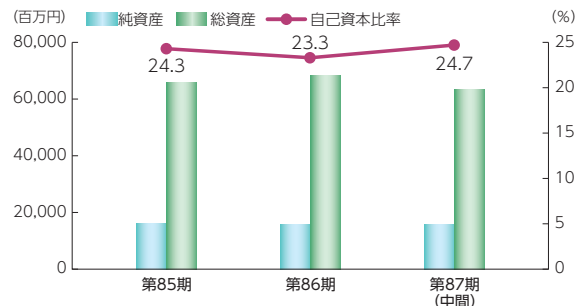
負債

仕入債務の減少等により、前期末比4,509百万円の減少

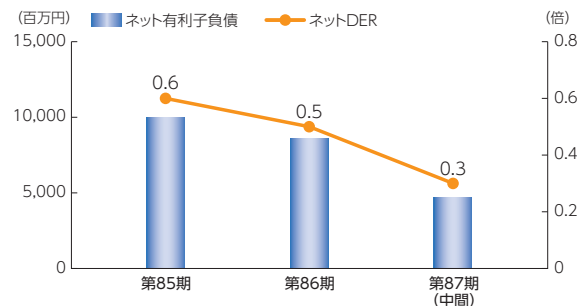
純資産

その他の包括利益累計額の減少等により、前期末比223百万円の減少

純資産(百万円)／総資産(百万円)／自己資本比率(%)



ネット有利子負債(百万円)／ネットDER(倍)



当社ホームページ(IR情報ページ)のご案内

当社ホームページのIR情報のページでは、決算短信や有価証券報告書等のIR情報をご覧いただけます。より詳細な情報については、以下のアドレスにアクセスくださいますようお願いいたします。

<http://www.gsi.co.jp/ir>

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

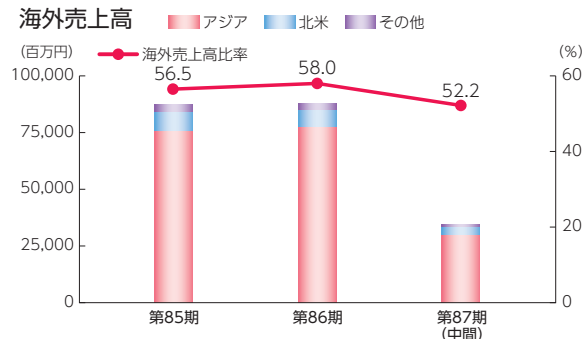
科目	当中間期	前中間期
	平成28年4月1日～ 平成28年9月30日	平成27年4月1日～ 平成27年9月30日
売上高	66,001	72,389
売上原価	59,384	65,671
売上総利益	6,617	6,717
販売費及び一般管理費	6,033	6,291
営業利益	583	426
営業外収益	98	153
営業外費用	441	187
経常利益	241	392
特別利益	310	73
特別損失	109	37
税金等調整前中間純利益	442	428
法人税等合計	△17	127
非支配株主に帰属する中間純利益	—	0
親会社株主に帰属する中間純利益	460	301

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

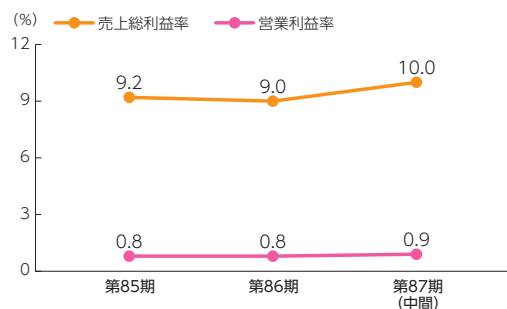
(単位:百万円)

科目	当中間期	前中間期
	平成28年4月1日～ 平成28年9月30日	平成27年4月1日～ 平成27年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	2,832	3,280
投資活動による キャッシュ・フロー	1,142	250
財務活動による キャッシュ・フロー	△309	△1,619
現金及び現金同等物の 中間期末残高	12,560	10,389

海外売上高



売上総利益率(%) / 営業利益率(%)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)のポイント

営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の減少等により、2,832百万円の増加

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の売却による収入等により、1,142百万円の増加

財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済による支出等により、309百万円の減少

会社概要 (平成28年9月30日現在)

会社の概要

会社名	株式会社GSIクレオス		
本社	東京都千代田区九段南二丁目3番1号		
設立	1931年10月31日		
資本金	71億86百万円		
従業員数	563名(連結)		
拠点	国内 7ヶ所	海外	17ヶ所
連結子会社	国内 8社	海外	8社
ホームページ	http://www.gsi.co.jp		

株式の状況 (平成28年9月30日現在)

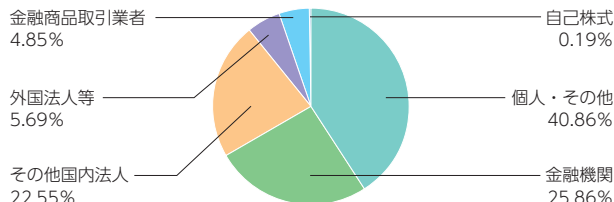
発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	64,649,715株 (自己株式120,214株を含む)
株主数	5,822名

大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
グンゼ株式会社	9,321	14.45
株式会社みずほ銀行	3,182	4.93
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,172	4.92
日本生命保険相互会社	2,328	3.61
東レ株式会社	1,982	3.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,422	2.20
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,051	1.63
宮川 久雄	971	1.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	758	1.17
株式会社SBI証券	706	1.09

(注) 持株比率については、自己株式(120,214株)を控除して算出し、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

株主構成(所有者別株式数の割合)



取締役・執行役員

取締役

代表取締役社長 社長執行役員	中島 浩二
常務取締役 常務執行役員	松下 康彦
常務取締役 常務執行役員	吉永 直明
常務取締役 常務執行役員	中山 正輝
取締役 執行役員	荒木 靖司
取締役 執行役員	新美 一夫
取締役 執行役員	大西 文博
社外取締役	岩田 紀治

<監査等委員>

取締役	浅野 幹雄
社外取締役	金井 博芳
社外取締役	後藤 芳浩

(注) 浅野幹雄は、常勤の監査等委員であります。

執行役員

宮崎 晃一	大賀 浩司
松尾 慶彰	森田 雅彦
西村 裕樹	鈴木 恵太

株主メモ

証券コード 8101

上場証券取引所 東京

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

期末配当金

受領株主確定日 3月31日

単元株式数 1,000株

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL: 0120-232-711 (通話料無料)

公告の方法 電子公告

当社のホームページに掲載いたします。
公告掲載アドレス <http://www.gsi.co.jp/ir/notice>
(ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

